

みずほCustomer Desk Report 2023/05/08 号 (As of 2023/05/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.17	1.1024	147.85	1.2578	0.6697
SYD-NY High	135.12	1.1048	148.68	1.2652	0.6757
SYD-NY Low	133.88	1.0967	147.74	1.2559	0.6689
NY 5:00 PM	134.86	1.1019	148.53	1.2631	0.6750
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,674.38	546.64	日本2年債	-	-
NASDAQ	12,235.41	269.02	日本10年債	-	-
S&P	4,136.25	75.03	米国2年債	3.9160%	0.1299%
日経平均	-	-	米国5年債	3.4087%	0.0852%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.4342%	0.0583%
シカゴ日経先物	29,115.00	475.00	独10年債	2.2930%	0.1005%
ロンドンFT	7,778.38	75.74	英10年債	3.7740%	0.1280%
DAX	15,961.02	226.78	豪10年債	3.3330%	0.0070%
ハンセン指数	20,049.31	100.58	USDJPY 1M Vol	10.13%	▲0.65%
上海総合	3,334.50	▲ 15.96	USDJPY 3M Vol	11.05%	▲0.41%
NY金	2,024.80	▲ 30.90	USDJPY 6M Vol	10.92%	▲0.25%
WTI	71.34	2.78	USDJPY 1M 25RR	▲1.46%	Yen Call Over
CRB指数	261.60	4.80	EURJPY 3M Vol	10.62%	▲0.35%
ドルインデックス	101.21	▲ 0.19	EURJPY 6M Vol	10.71%	▲0.26%

アジア	アジア時間のドル円は134.17レベルでオープン。引き続き東京休日につき流動性の薄い中、朝方からドル売りが優勢。134円を割れたタイミングではサポートされたものの、上値の重さが意識される中で午後にかけても軟調な値動きが続いた。133.88まで下値を広げた後は欧州早朝から小幅に反発し、134.16レベルでアジア時間クロス。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、134.16レベルでオープン。午後に米4月雇用統計を控え、全体的に方向感に欠ける動き。一時133.98まで売られた後、結局134.27レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。米FOMCなど重要なイベントをこなし、東京が引き続き休場の中、134円台丁度付近を挟んだ狭い推移が続き、134.27レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月非農業部門雇用者数が予想を大幅に上回り、平均時給も前月比で伸びており、米労働市場が依然逼迫しているとの見方から、ドル買いが強まり135.12まで急伸。しかし、その後米地銀株が軒並みに反転上昇した事を受け、リスク志向のドル売りに上値を抑制され135円台を割り込む。午後は週末を控え、134.80近辺を挟んだ方向感乏しい推移が続き、134.86レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台前半でスタート。一時1.10台半ばまで上昇するも、独3月製造業受注が大幅に悪化する内容や、ユーロ圏3月の小売り売上高が予想より低下する結果が売り材料となり、海外時間の上げ幅を吐出し、1.1010レベルでNYオープン。朝方に発表された強い米雇用関連の経済指標の結果を受け、ドルが買われる中1.0967まで続落する。その後、先述の米地銀株の堅調な展開を受け、クロス円の上昇に連れ高となり、1.1036まで戻す。午後は伸び一服となり、週末ムードから1.10台前半での小動きとなり、1.1019レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・大橋

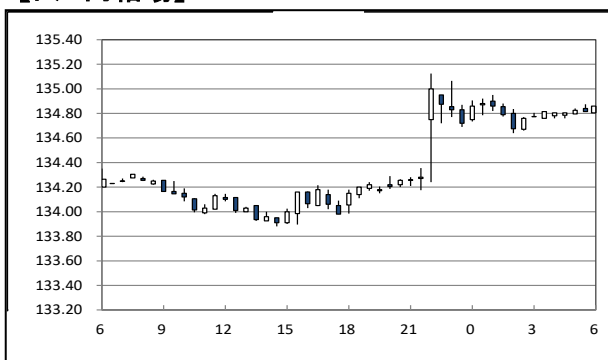
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月2日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	5月 3.85%	3.6%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	4月 0.7%/7.0%	0.7%/6.9%
5月3日	21:15	米 ADP雇用統計	4月 296k	150k
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	4月 51.9	51.8
5月4日	03:00	米 FOMC政策金利(上限/下限)	5月 5.25%/5.00%	5.25%/5.00%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	5月 3.75%	3.75%
5月5日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	4月 253k	185k
	21:30	米 失業率	4月 3.4%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	4月 0.5%/4.4%	0.3%/4.2%

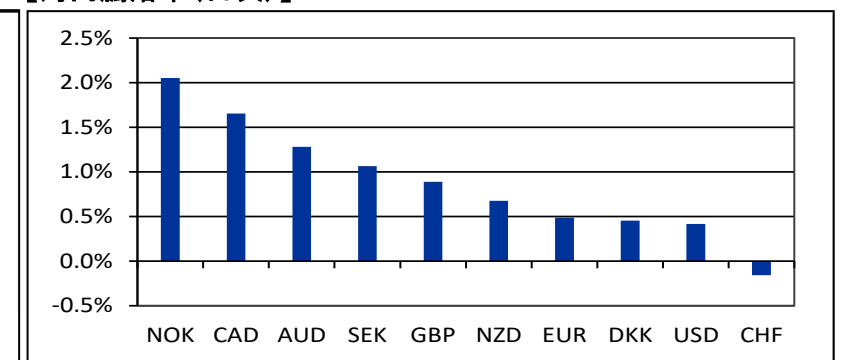
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月8日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	3月 -1.5%	2.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.30-135.80	1.0950-1.1080	147.80-149.80

【マーケットインプレッション】

先週のドル円は2日に137.78円まで上昇後、4日には133.51円まで急落する荒い値動きとなった。3、4日の日程で開催された米FOMCでは市場予想通り0.25%の追加利上げが決定された。ただし、声明文からは追加金融引き締めが適切との文言が削除され、米金利は低下で反応。さらに、米銀行セクターに対する警戒感からリスク回避の動きが強まり、円買いが加速。5日に発表された米4月雇用統計が予想比強めの結果となるとドルに買い戻しが入った。市場ではFRBは下半期に利下げに転じるとの見方があるも、労働市場を中心に米経済は力強さが残っていることが確認されており、年内利下げの可能性が後退するに連れドル円は再び上昇に転じると予想。本日は重要な経済指標の発表がない中、米銀を巡る不透明感からリスク回避の動きには警戒が必要だが、先週末の強い米雇用統計の結果を受けたドル買い戻しの流れは継続すると予想する。